



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場会社名 日特エンジニアリング株式会社 上場取引所 大
 コード番号 6145 URL http://www.nittoku.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)近藤 進茂
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)坂口 賢三 (TEL)048(837)2011
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	15,951	42.8	3,103	50.3	3,188	50.6	1,872	48.4
23年3月期第3四半期	11,168	107.3	2,065	—	2,117	884.8	1,261	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,675百万円(43.1%) 23年3月期第3四半期 1,171百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	110 81	— —
23年3月期第3四半期	74 90	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	21,775	14,668	67.3
23年3月期	19,977	13,357	66.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 14,651百万円 23年3月期 13,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	— —	10 00	— —	15 00	25 00
24年3月期	— —	10 00	— —		
24年3月期(予想)				15 00	25 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	27.6	3,350	28.5	3,400	26.7	2,000	—	118 45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期3Q	18,948,923株	23年3月期	18,948,923株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	2,030,122株	23年3月期	2,103,045株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期3Q	16,895,841株	23年3月期3Q	16,842,439株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経済情勢は、欧州債務危機の先行き不透明感、中国など急速に発展した国の景気減速への警戒は継続したものの、「ネクスト11」など新興各国を中心に産業・生活の現代化を進める動きは止まらず、これら生産・消費活動が底堅く推移する国もあって、信用不安による停滞と実体経済の動きが交錯する、一進一退の様相となりました。

国内経済は、東日本大震災後の生産活動の再開、復興需要への期待といった前向きな要因があったものの、円高の長期化によって従来の牽引役であった輸出産業を中心に生産活動、生産体制の見直し、また、円高による業績への悪影響が表れ始め、景気の先行き不透明さを増す展開となりました。

当社グループも、世界経済の先行き不透明感は拭えないものの、①開発・普及が活発なスマートフォンを始めとするモバイル機器、②急速な発展で人件費が高騰した新興国、とりわけ中国の省人化を目的とする自動機、③未来を見据えた省エネ、スマート構想向けの家電・電子機器・電気設備・自動車、④進化が進む医療機器といった、現在の世界景気低迷の影響が少ない分野に経営資源を集中したことにより、これらの生産設備の開発・製造・販売が順調に推移しました。また、当社（個別）売上高の約75%が輸出ですが、原則円建て取引の施策を継続しているため、当社売上高のうち外貨建て取引は約5%に過ぎず、円高による収益への影響は軽微なものにとどまりました。

これらの結果、売上高は159億51百万円（前年同期比42.8%増）、営業利益は31億3百万円（前年同期比50.3%増）、経常利益は31億88百万円（前年同期比50.6%増）、四半期純利益は18億72百万円（前年同期比48.4%増）となり、売上高、利益共に前年同期に比べ大幅な増加となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(巻線機事業)

全売上高の約97%を占める巻線機事業におきましては、前述のとおり、モバイル機器需要、自動化需要、省エネ需要などにより、連結売上高は154億4百万円、セグメント利益（営業利益）は34億35百万円となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は157億17百万円、売上高（生産高）は139億85百万円、当第3四半期末の受注残高は88億35百万円となりました。

(非接触ICタグ・カード事業)

非接触ICタグ・カード事業におきましては、東日本大震災後に低迷していた受注状況にやや改善が見られ、連結売上高は3億85百万円、セグメント利益（営業利益）は43百万円となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は4億75百万円、売上高（生産高）は3億85百万円、当第3四半期末の受注残高は2億6百万円となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業におきましては、連結売上高は1億61百万円、セグメント利益（営業利益）は1億14百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は前連結会計年度末対比22億62百万円増加し、145億19百万円となりました。これは主として、現金及び預金が9億12百万円、受取手形及び売掛金が5億86百万円、仕掛品が4億10百万円増加したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比4億65百万円減少し、72億55百万円となりました。これは主として、減損損失の計上により土地が1億7百万円、投資有価証券評価損の計上により投資有価証券が2億円減少したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比17億97百万円増加し、217億75百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末対比5億2百万円増加し、59億86百万円となりました。これは主として、未払法人税等が3億97百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が9億44百万円増加したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比15百万円減少し、11億20百万円となりました。これは主として、退職給付引当金が19百万円増加したものの、負ののれんが34百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比4億86百万円増加し、71億6百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末対比13億10百万円増加し、146億68百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。なお、平成23年10月28日に公表しました通期業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要性がないため、記載を省略しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,345,364	6,257,913
受取手形及び売掛金	3,418,538	4,004,712
仕掛品	2,738,059	3,148,553
原材料及び貯蔵品	341,870	724,584
繰延税金資産	215,907	149,257
その他	211,181	242,946
貸倒引当金	△13,871	△8,355
流動資産合計	12,257,050	14,519,613
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,510,860	2,410,593
機械装置及び運搬具(純額)	394,733	324,781
土地	1,747,384	1,640,025
その他(純額)	93,658	119,433
有形固定資産合計	4,746,636	4,494,834
無形固定資産		
その他	36,255	41,339
無形固定資産合計	36,255	41,339
投資その他の資産		
投資有価証券	1,343,551	1,142,799
繰延税金資産	1,116,758	1,060,503
その他	490,297	524,759
貸倒引当金	△12,629	△8,697
投資その他の資産合計	2,937,978	2,719,365
固定資産合計	7,720,871	7,255,539
資産合計	19,977,922	21,775,152
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,301,296	4,246,044
1年内返済予定の長期借入金	400,000	350,000
未払法人税等	885,649	488,332
賞与引当金	236,414	145,738
その他	660,404	756,064
流動負債合計	5,483,764	5,986,179
固定負債		
退職給付引当金	239,793	258,945
負ののれん	115,519	80,863
その他	780,903	780,861
固定負債合計	1,136,216	1,120,671
負債合計	6,619,981	7,106,851

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884,928	6,884,928
資本剰余金	2,581,107	2,595,050
利益剰余金	5,685,350	7,125,012
自己株式	△1,600,061	△1,544,677
株主資本合計	13,551,324	15,060,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,197	△86,905
為替換算調整勘定	△272,566	△321,735
その他の包括利益累計額合計	△216,368	△408,641
少数株主持分	22,985	16,628
純資産合計	13,357,941	14,668,300
負債純資産合計	19,977,922	21,775,152

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	11,168,951	15,951,733
売上原価	7,566,250	10,993,171
売上総利益	3,602,700	4,958,561
販売費及び一般管理費	1,537,455	1,855,152
営業利益	2,065,244	3,103,408
営業外収益		
受取利息	6,041	6,737
受取配当金	22,716	27,071
負ののれん償却額	34,655	34,655
その他	26,636	28,438
営業外収益合計	90,050	96,904
営業外費用		
支払利息	11,790	5,817
債権売却損	7,602	5,214
為替差損	14,524	—
その他	4,057	426
営業外費用合計	37,974	11,458
経常利益	2,117,320	3,188,854
特別利益		
固定資産売却益	2,304	25
投資有価証券売却益	7,157	—
貸倒引当金戻入額	4,992	—
受取和解金	103,520	—
有価証券償還益	—	2,221
その他	492	287
特別利益合計	118,467	2,534
特別損失		
固定資産売却損	—	21
投資有価証券評価損	110,275	24,738
減損損失	11,134	107,358
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	14,642	—
災害による損失	—	2,200
その他	8,191	3,898
特別損失合計	144,244	138,216
税金等調整前四半期純利益	2,091,543	3,053,171
法人税、住民税及び事業税	815,003	1,021,707
法人税等調整額	11,341	161,452
法人税等合計	826,345	1,183,160
少数株主損益調整前四半期純利益	1,265,197	1,870,011
少数株主利益又は少数株主損失(△)	3,719	△2,216
四半期純利益	1,261,477	1,872,227

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,265,197	1,870,011
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,727	△143,103
為替換算調整勘定	△86,026	△51,052
その他の包括利益合計	△93,753	△194,155
四半期包括利益	1,171,443	1,675,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,167,737	1,679,954
少数株主に係る四半期包括利益	3,706	△4,099

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	巻線機事業	非接触ICタグ・ カード事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	10,521,779	481,221	165,949	11,168,951
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	10,521,779	481,221	165,949	11,168,951
セグメント利益	2,321,639	53,519	137,560	2,512,719

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,512,719
全社費用(注)	△447,474
四半期連結損益計算書の営業利益	2,065,244

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	巻線機事業	非接触ICタグ・ カード事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	15,404,817	385,794	161,120	15,951,733
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	15,404,817	385,794	161,120	15,951,733
セグメント利益	3,435,739	43,350	114,586	3,593,676

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,593,676
全社費用(注)	△490,268
四半期連結損益計算書の営業利益	3,103,408

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。